

令和6年度 全国学力・学習状況調査 設問別結果(ベンチマーク)

【小学6年生 国語】 【設問順】

※倉敷市と県及び全国との平均正答率の差については、小數第2位以下の数字を含めた数値で計算しているため、見た目上で0.1%の差異が生じる場合がある。

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容						問題形式	正答率(%)				ベンチマークグラフ(対全国)	無解答率(%)						
			知識及び技能			思考力、判断力、表現力等				知識・技能	主体的に学習に取り組む態度	倉敷市	岡山県		全国	全国との差	倉敷市	岡山県	全国	全国との差	
			(1) 言葉の特徴や使い方に關する事項	(2) 情報の扱い方に關する事項	(3) 我が国の言語文化に關する事項	A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと													
1ー	学校の取り組みを紹介する内容を【和田さんのメモ】にどのように整理したのかについて説明したものとして、適切なものを選択する	目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる										65.1	63.8	62.5	2.6	-10.0		0.5	0.5	0.7	-0.2
1二(1)	オンラインで交流する場面において、和田さんが話し方を変えた理由として適切なものを選択する	話し言葉と書き言葉との違いに気付くことができるかどうかをみる	5.6イ									77.5	75.6	75.9	1.6		0.4	0.4	0.6	-0.2	
1二(2)	オンラインで交流する場面における和田さんの話し方の工夫として適切なものを選択する	資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる				5.6ウ						52.9	51.7	52.9	0.0		0.4	0.4	0.7	-0.3	
1三	オンラインで交流する場面において、【和田さんのメモ】がどのように役に立ったのかを説明したものとして、適切なものを選択する	目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる				5.6ア						66.2	65.0	63.8	2.4		0.7	0.7	0.9	-0.2	
2ー(1)	高山さんが文章に書くことを決めるために、どのように考えたのかについて説明したものとして、適切なものを選択する	目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる				5.6ア						81.4	81.4	80.3	1.1		0.4	0.6	0.9	-0.5	
2ー(2)	【高山さんのメモ】の書き表し方を説明したものとして、適切なものを選択する	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる		5.6イ								87.9	87.7	86.9	1.0		0.5	0.7	0.9	-0.4	
2二	【高山さんの文章】の空欄に入る内容を、【高山さんの取材メモ】を基にして書く	目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる				5.6ウ						55.6	56.7	56.6	-1.0		3.8	3.9	4.9	-1.1	
2三ア	【高山さんの文章】の下線部アを、漢字を使って書き直す(きょうぎ)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる	5.6エ									41.7	41.6	43.4	-1.7		9.9	10.8	13.2	-3.3	
2三イ	【高山さんの文章】の下線部イを、漢字を使って書き直す(なげる)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる		5.6エ								76.2	77.0	76.0	0.2		6.3	6.1	8.0	-1.7	
3ー	【物語】の一文の中の「かがやいています」の主語として適切なものを選択する	文の中における主語と述語との関係を捉えることができるかどうかをみる				3.4カ						62.0	63.3	62.3	-0.3		1.3	1.7	2.0	-0.7	
3二(1)	「オニグモじいさん」が「ハエの女の子」にどのように話しかけていると考えられるところとして、適切なものを選択する	登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができるかどうかをみる				5.6イ						66.5	66.7	66.9	-0.4		1.5	2.1	2.6	-1.1	
3二(2)	【話し合いの様子】で、原さんが【物語】の何に着目したのかについて説明したものとして、適切なものを選択する	人物像を具体的に想像することができるかどうかをみる				5.6エ						71.5	71.8	72.5	-1.0		1.8	2.3	2.9	-1.1	
3三	【物語】を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて書く	人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるかどうかをみる				5.6エ						76.7	73.3	72.6	4.1		8.5	10.6	12.6	-4.1	
3四	【原さんの読書の記録】の空欄に入る内容として適切なものを選択する	日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができるかどうかをみる				5.6オ						75.3	74.9	74.6	0.7		4.6	6.4	7.6	-3.0	

[小学6年生 算数] 【設問順】

※倉敷市と県及び全国との平均正答率の差については、小数第2位以下の数字を含めた数値で計算しているため、見た目上で0.1%の差異が生じる場合がある。

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			正答率(%)				ベンチマークグラフ(対全国)				無解答率(%)			
			A 数と計算	B 図形	C 測定 変化と関係	D データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	倉敷市	岡山県	全国	全国との差	倉敷市	岡山県	全国	全国との差	倉敷市	岡山県	全国	全国との差
												60.6	62.3	62.1	-1.5	-10.0		+10.0		0.2	0.2	0.2	0.0	
1(1)	問題場面の数量の関係を捉え、持っている折り紙の枚数を求める式を選ぶ	問題場面の数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみる	2(2) 7(エ)					○		○		60.6	62.3	62.1	-1.5					0.2	0.2	0.2	0.0	
1(2)	はじめに持っていた折り紙の枚数を口枚としたときの、問題場면을表す式を選ぶ	数量の関係を、口を用いた式に表すことができるかどうかをみる	3(7) 7(ア)					○		○		88.0	88.0	88.5	-0.5					0.2	0.2	0.3	-0.1	
2(1)	$350 \times 2 = 700$ であることを基に、 $350 \times 16$ の積の求め方と答えを書く	計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる	3(3) 1(ア)					○		○		59.1	55.8	56.9	2.2					3.7	3.5	3.4	0.3	
2(2)	除数が $1/10$ になったときの商の大きさについて、正しいものを選ぶ	除数が小数である場合の除法において、除数と商の大きさの関係について理解しているかどうかをみる	5(3) 7(ア)					○		○		65.8	66.9	69.1	-3.3					1.2	1.2	1.3	-0.1	
3(1)	作成途中の直方体の見取図について、辺として正しいものを選ぶ	直方体の見取図について理解し、かくことができるかどうかをみる	4(2) 7(ア) 7(ウ)					○		○		85.9	85.7	85.5	0.4					0.4	0.5	0.6	-0.2	
3(2)	円柱の展開図について、側面の長方形の横の長さが適切なものを選ぶ	直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解しているかどうかをみる	5(1) 7(エ)					○		○		71.9	71.6	71.3	0.6					0.5	0.7	0.8	-0.3	
3(3)	直径22cmのボールがぴったり入る箱の体積を求める式を書く	球の直径の長さ立立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができるかどうかをみる	3(1) 7(ウ) 1(ア) 5(4) 7(イ) 4(ア)					○		○		31.3	32.9	36.5	-5.2					8.6	8.5	9.8	-1.2	
3(4)	五角柱の面の数を書き、そのわけを底面と側面に着目して書く	角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる	5(2) 7(ア) 1(ア)					○		○		69.8	70.7	72.0	-2.2					2.0	1.7	1.8	0.2	
4(1)	$540 \div 0.6$ を計算する	除数が小数である場合の除法の計算をすることができるかどうかをみる	5(3) 7(イ)					○		○		62.5	67.6	70.1	-7.6					3.1	3.0	3.1	0.0	
4(2)	3分間で180m歩くことを基に、1800mを歩くのにかかる時間を書く	速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察できるかどうかをみる				5(1) 1(ア) 5(2) 1(ア)		○		○		67.0	65.7	70.0	-3.0					3.3	3.2	3.3	0.0	
4(3)	家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる二人の速さについて、どちらが速いかを判断し、そのわけを書く	道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる				5(2) 7(ア) 1(ア)		○		○		28.6	29.4	31.0	-2.4					2.1	2.1	2.4	-0.3	
4(4)	家から図書館までの自転車の速さが分速何mかを書く	速さの意味について理解しているかどうかをみる				5(2) 7(ア)		○		○		47.4	51.5	54.1	-6.7					4.6	4.4	4.6	0.0	
5(1)	円グラフから、2023年の桜の開花日について、4月の割合を読み取って書く	円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ることができるかどうかをみる				5(1) 7(ア)		○		○		80.4	80.0	80.8	-0.4					1.3	1.7	1.8	-0.5	
5(2)	示されたデータから、1960年代のC市について、開花日が3月だった年と4月だった年がそれぞれ何回あったかを読み取り、表に入る数を書く	簡単な二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理することができるかどうかをみる				3(1) 7(ア)		○		○		72.5	72.4	73.3	-0.8					3.8	4.0	3.9	-0.1	
5(3)	折れ線グラフから、開花日の月について、3月の回数と4月の回数の違いが最も大きい年代を読み取り、その年代について3月の回数と4月の回数の違いを書く	折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる				3(1) 1(ア) 4(1) 7(イ)		○		○		40.5	42.4	44.0	-3.5					13.1	12.5	12.6	0.5	
5(4)	示された桜の開花予想日の求め方を基に、開花予想日を求める式を選び、開花予想日を書く	示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断できるかどうかをみる	2(1) 1(ア)			3(1) 7(ア)		○		○		46.1	46.8	49.3	-3.2					3.1	3.8	4.0	-0.9	